

点から通信

Vol.89

発行日 R3. 3. 1

発行元 なかべこども家庭支援センター

紙風船

E-mail kamifuusen@river.ocn.ne.jp

http://nakabe-gakuin.org/

「人として成長するためには」

親との関わりは子どもの発達に大きな影響を与えます。その関わりはお母さんのお腹の中にいた時から始まっています。生まれたばかりの赤ちゃんは親に抱かれることで安心感を覚えます。母体にいる時の親の心臓音と血流の音が記憶の中にあるからです。人は赤ちゃんを抱くとき、無意識に左胸に頭が来るように抱いています。それは、右利き、左利きに関係なくそうしているそうです。

赤ちゃんは生まれた時から成人と同じ 1000 億個の脳細胞を持っています。しかし、脳細胞は持っているものの、細胞同士がネットワーク化できていません。このネットワーク化は外部刺激から良くも悪くも 3 歳頃までに確立していきます。脳は、7, 8 歳で大人の重さの 90% に達し、その後はゆっくり大きくなり 20 歳前後で完成します。

脳の発達を促すことは何も特別なことではありません。赤ちゃんをあやし、話しかければいいのです。手の平で顔を隠して「いないいないばあ」と赤ちゃんを喜ばすと、数千の細胞がネットワーク化されるといいます。赤ちゃんに話しかけることで言葉も獲得していきます。決して特別なことではありません。オランダの教育学者ランゲフェルドは、「人間は教育される動物である」と言っています。おおかみに育てられた少女、アマラとカマラはおおかみに育てられたことで、言葉も生活習慣も身につかず、脳の発達にも影響を与えました。

近年スマホ育児が話題になっていますが、2 歳児がアプリでパズルをするのと、本物のパズルをするのでは発達に違いがあります。本物のパズルには、パズルを指で触り、形や材質の感覚を身につけ、指の運動能力を鍛える力がありますが、アプリのパズルにはそれがありません。

子どもが人として成長するためには親の直接的な関わりが必要なのです。どうかたくさんたくさん抱きしめて、話しかけて、笑いかけてあげてください。

柴富 康子(相談支援員)

相 談 無 料

TEL083-250-8721 下関市古屋町1丁目2-56

子育てが辛い、子どもの友達関係、子どもの発育等、気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。

紙風船利用時間 9:00~17:00(電話相談は24時間受付)



イライラを緩めよう！

「べき」をゆるめる

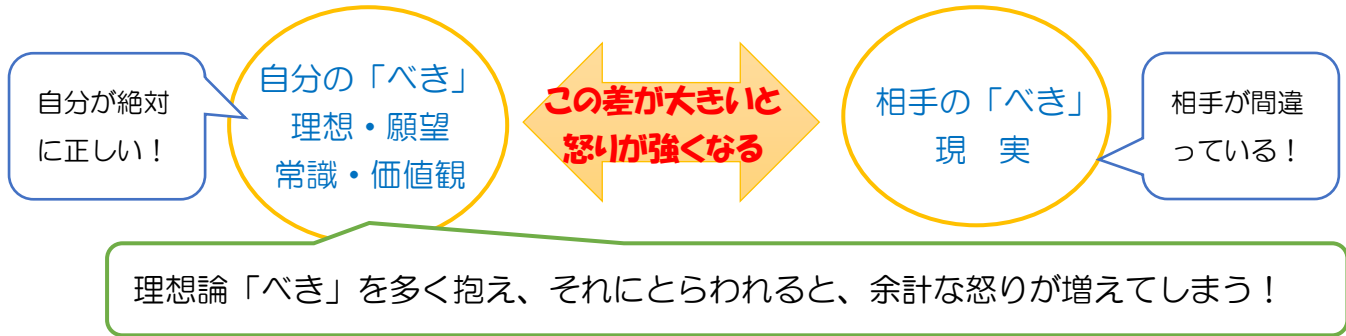
子どもは親の言うことをきくべき

片付けはすべき

挨拶はするべき

家に帰ったら手を洗うべき

イライラした気持ちは、自分の中の「こうあるべき」と思うものが、自分の思い通りにいかない時に沸いてくるものです。その「べき」というものは、自分の理想・願望のこともあれば、常識や価値観のこともあります。その思いには、正解、不正解はありません。



例えば・・・

子どもは早く寝るべき！
なのに寝ない・・・

教えたことはやるべき！
「何回言ってもやらない」



理想を持つのはいいことです。しかし、理想の「べき」にとらわれて子育てすると、理想と現実のギャップがあるたび、イライラが止まらなくなります。イライラから解放されるには、少しだけ、自分の「べき」を手放し、目の前の現実におおらかになることも必要。



例) 学校から帰ってきた子ども。何もしていない、ボーっとしている

学校から帰ったら、手を洗って、うがいして、着替えて、宿題すべき！

「べき」にとらわれイライラ

疲れたのか？少し休ませてから声かけよう。



現実を見て「べき」を緩める。

自分の考えを緩め違う視点で見て、イライラを少し緩めてみてください！



雪が降った日、紙風船でかまくらを作りました！2歳児が入れるくらいの大きさ完成です！雪だるまも作りました！



節分には鬼もきたよ！！



(文責：岡森)